

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第5部門第3区分

【発行日】平成25年11月7日(2013.11.7)

【公表番号】特表2013-505427(P2013-505427A)

【公表日】平成25年2月14日(2013.2.14)

【年通号数】公開・登録公報2013-008

【出願番号】特願2012-530216(P2012-530216)

【国際特許分類】

F 2 3 R	3/16	(2006.01)
F 2 3 R	3/42	(2006.01)
F 0 2 C	7/24	(2006.01)
F 0 1 D	25/04	(2006.01)
G 1 0 K	11/16	(2006.01)
F 2 3 D	14/78	(2006.01)

【F I】

F 2 3 R	3/16	
F 2 3 R	3/42	A
F 0 2 C	7/24	C
F 0 1 D	25/04	
G 1 0 K	11/16	B
F 2 3 D	14/78	B

【手続補正書】

【提出日】平成25年9月13日(2013.9.13)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

少なくとも、内側ライナ(5)と、該内側ライナ(5)と共に、介在させられた冷却室(7)を形成する外側カバープレート(6)とを含む部分(4)を有する燃焼器(1)において、前記内側ライナ(5)から、冷却室(7)内へ突出した複数の中空エレメント(9, 9f)が延びてあり、それぞれの中空エレメント(9, 9f)が、調整されたダクト(11)を介して燃焼器(1)の内部に接続された減衰体積(10)を有しており、該減衰体積(10)は、前記介在させられた冷却室(7)によって少なくとも部分的に包囲されており、運転中に、前記中空エレメント(9)が、圧力脈動を減衰し、付加的に、熱も伝導することを特徴とする、燃焼器(1)。

【請求項2】

内側ライナ(5)を支持するために、少なくとも幾つかの中空エレメントが、カバープレート(6)に結合される固定中空エレメント(9f)を形成している、請求項1記載の燃焼器(1)。

【請求項3】

中空エレメント(9, 9f)が、冷却室(7)を減衰体積(10)に接続するページ穴(13)を有する、請求項1記載の燃焼器(1)。

【請求項4】

中空エレメント(9, 9f)が、冷却流れ方向(14)に沿って整合させられている、請求項1記載の燃焼器(1)。

**【請求項 5】**

中空エレメント(9, 9f)が、冷却流れ方向(14)に関して交互にずらされている、請求項1記載の燃焼器(1)。

**【請求項 6】**

中空エレメント(9, 9f)が、円筒形、だ円形、翼形又はこれらの組合せである、請求項1記載の燃焼器(1)。

**【請求項 7】**

様々な中空エレメント(9, 9f)が、様々な減衰体積(10)を形成する、請求項1記載の燃焼器(1)。

**【請求項 8】**

少なくとも幾つかの中空エレメント(9, 9f)が、減衰材料(17)が充填された減衰体積(10)を有する、請求項1記載の燃焼器(1)。

**【請求項 9】**

中空エレメント(9)の上壁(16)が、カバープレート(6)から分離されている、請求項1記載の燃焼器(1)。

**【請求項 10】**

カバープレート(6)に貫通孔(19)が設けられており、該貫通孔に、固定中空エレメント(9f)が収容されている、請求項9記載の燃焼器(1)。

**【請求項 11】**

固定中空エレメント(9f)が肩部(20)を有しており、該肩部に対してカバープレート(6)が載置されている、請求項10記載の燃焼器(1)。

**【請求項 12】**

固定中空エレメント(9f)が、ボルト(23)を介してカバープレート(6)に結合されるねじ山付き端部(22)を有する、請求項11記載の燃焼器(1)。

**【請求項 13】**

固定中空エレメント(9f)が、調節可能な上壁(24)を有する、請求項9記載の燃焼器(1)。

**【請求項 14】**

固定中空エレメント(9f)の調節可能な上壁(24)が、固定中空エレメント(9f)の対応するねじ山付き部分(26)に固定されたねじ山付きキャップ(25)を有する、請求項13記載の燃焼器(1)。